

# 内外の化学繊維生産動向

— 2018年 —

2019年1月30日

日本化学繊維協会

本資料の2018年の数値は、至近の発表値をもとに日本化学繊維協会  
で推定したものです。

## 1. 世界の化学繊維生産動向

日本化学繊維協会は毎年、年初に前年の世界の化繊生産推定値を発表しているが、2018年4月より主要データソースのFiber Organon誌が発行されなくなったことから今回は日本をはじめ交換統計ほかで入手可能な韓国、台湾、中国、インド、西欧（トルコ含む）の6か国・地域の化学繊維生産動向についてまとめた。これら6か国・地域の化繊生産合計は世界全体の88%（2017年）と9割近いシェアを占めており、世界的な傾向を推定することは可能とみられる。

図表1 世界の主要国・地域の化学繊維生産（2018年）

(1000トン)

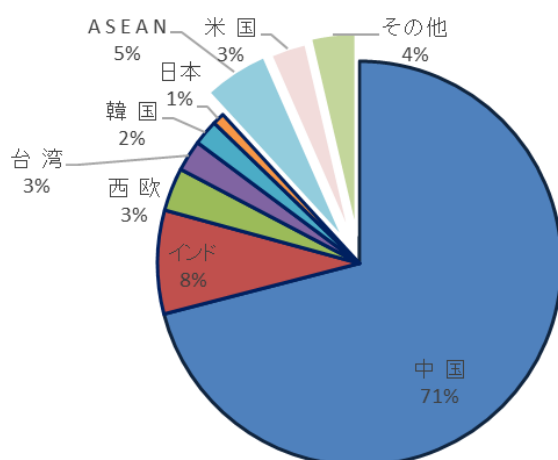
地域	ポリエステル		ナイロン F+S	アクリル S	合繊 計	セルロース 計	化繊 計	構成比 (%)
	フィラメント	スチープル						
日本	118	83	91	124	565	68	633	1.0
	-2.7	-10.8	-7.2	3.2	-2.7	1.8	-2.2	
韓国	602	653	90	52	1,398	-	1,398	2.2
	-0.3	5.2	-5.5	-6.3	1.6	-	1.6	
台湾	810	516	261	...	1,587	73	1,661	2.6
	1.9	-2.5	-3.5	...	-2.3	4.2	-2.0	
中国	32,678	10,017	3,697	591	47,936	4,028	51,964	81.7
	8.6	8.3	6.7	-17.8	7.9	5.5	7.7	
インド	3,325	1,239	156	94	4,823	644	5,467	8.6
	-4.2	-6.6	2.7	-1.9	-4.6	11.6	-2.9	
西欧	558	578	392	480	2,073	383	2,457	3.9
	9.7	5.8	5.9	0.7	5.4	0.5	4.6	
以上計	38,091	13,086	4,687	1,342	58,383	5,197	63,579	100.0
	7.0	5.8	5.3	-8.6	6.1	7.3	6.1	

(出所) 日本化学繊維協会

(注) 1.上段は生産量、下段は前年比(%) 2.推定を含む

3.オレフィン繊維、アセテートトウを含まない

図表2 世界の化学繊維生産国・地域別シェア（2017年）

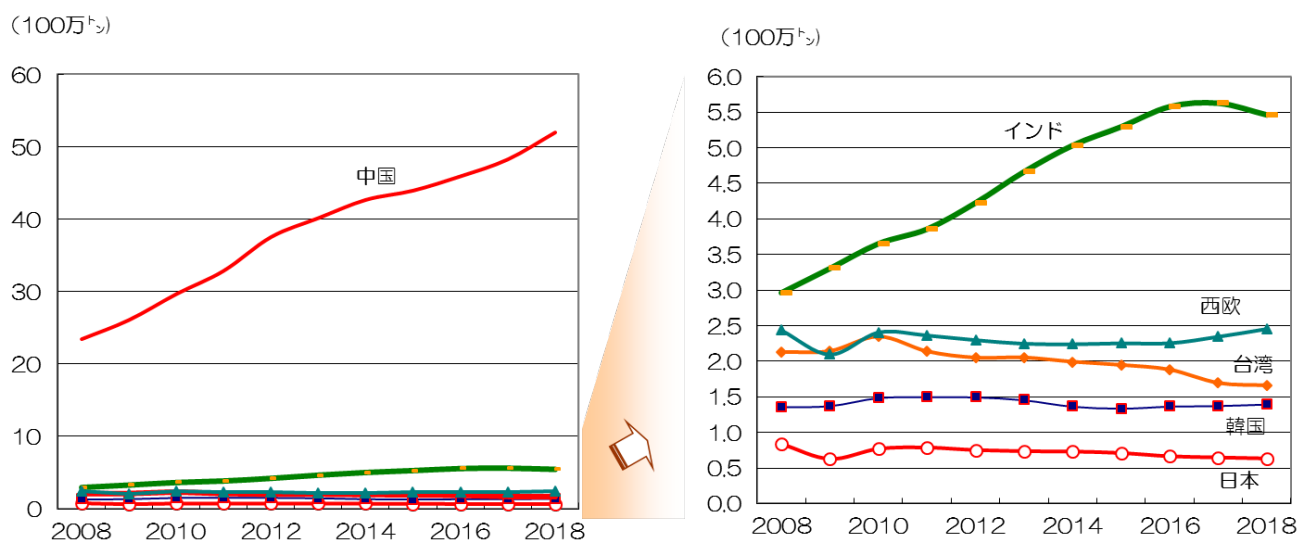


(出所) 日本化学繊維協会（以下、図表7まで同様）

## 2. 主要国・地域別化学繊維生産

主要国・地域別に化学繊維生産をみると、最大の中国は7.7%増と引き続き増加した。その他の主要生産国・地域は、西欧が紡織用ポリエステルFの好調により全体で4.6%増、韓国は品目ごとに状況が異なるものの全体で1.6%増と増加した。中国に次ぐ第2位の化繊生産国であるインドはポリエステルFの減少により2.9%減、台湾が2.0%減、日本は2.2%減となった。

図表3 世界の主要国・地域の化繊生産推移

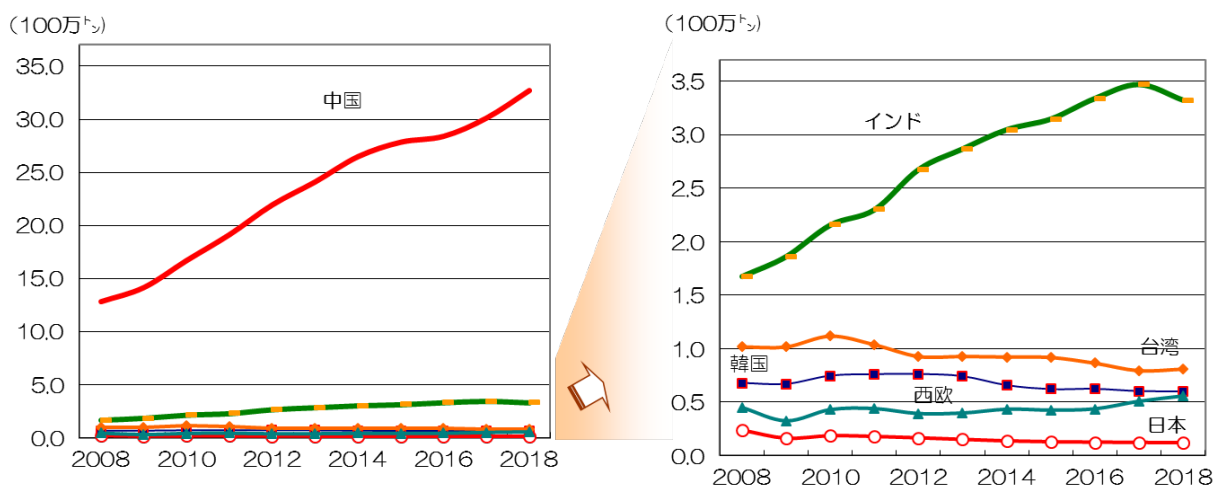


### 3. 主要生産国・地域の品種別化学繊維生産

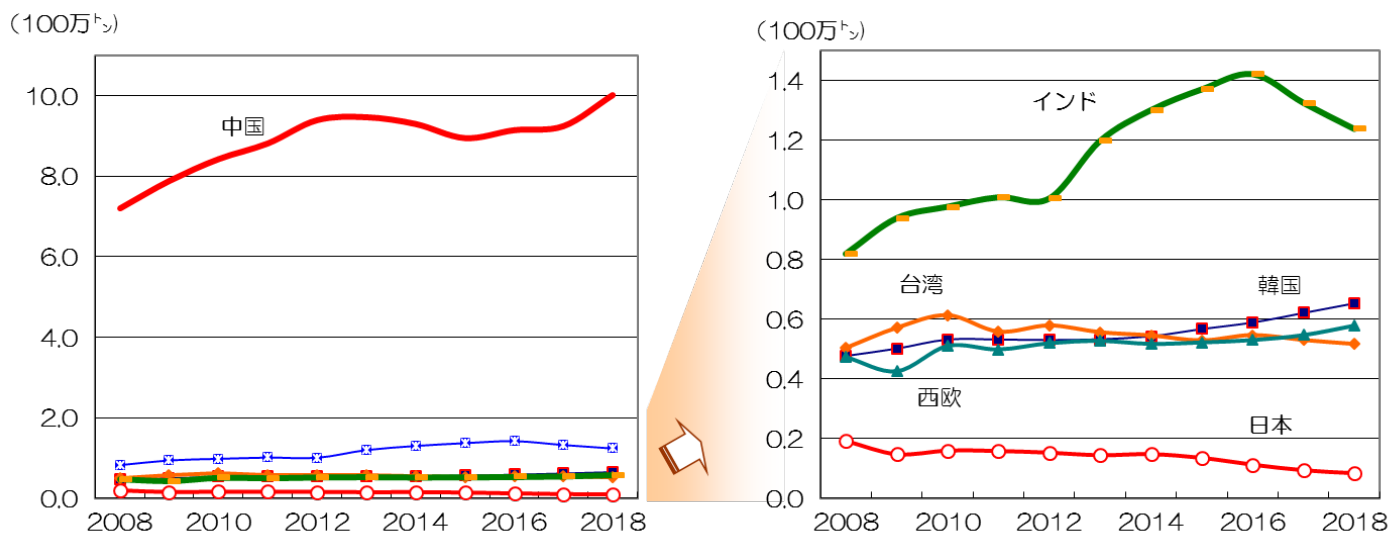
今回データをまとめた6か国・地域に限って主要品種別に増減を比較したところ、ポリエステルとナイロンが前年比5~7%増加したのに対し、アクリルSは中国の2桁減の影響もあって大幅に減少した。

セルロース繊維（レーヨン、アセテート、キュプラ）は7.3%増加。中国（5.5%増）、インド（11.6%増）を中心に増加した。

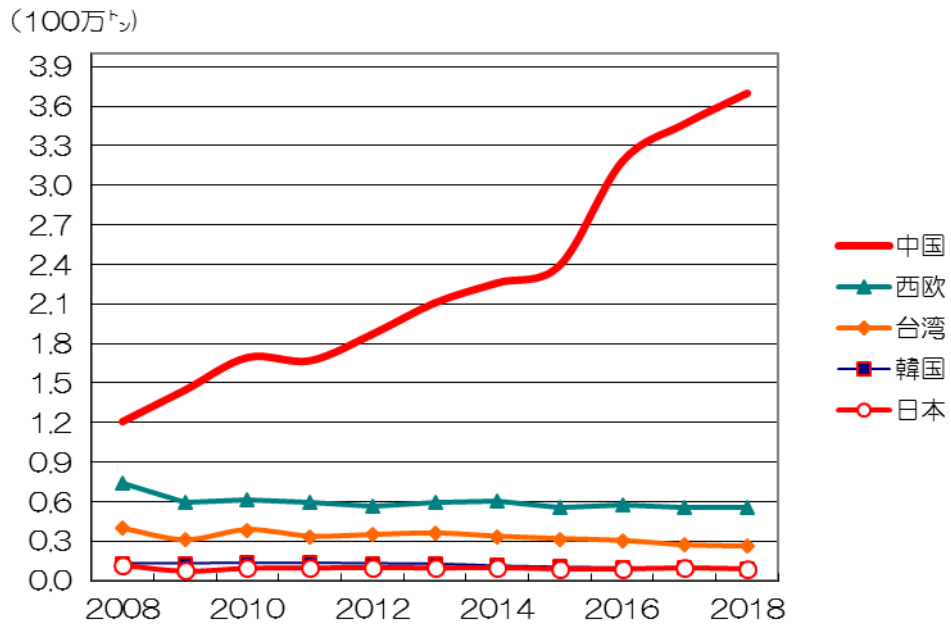
図表4 世界の主要国・地域別ポリエステルF生産



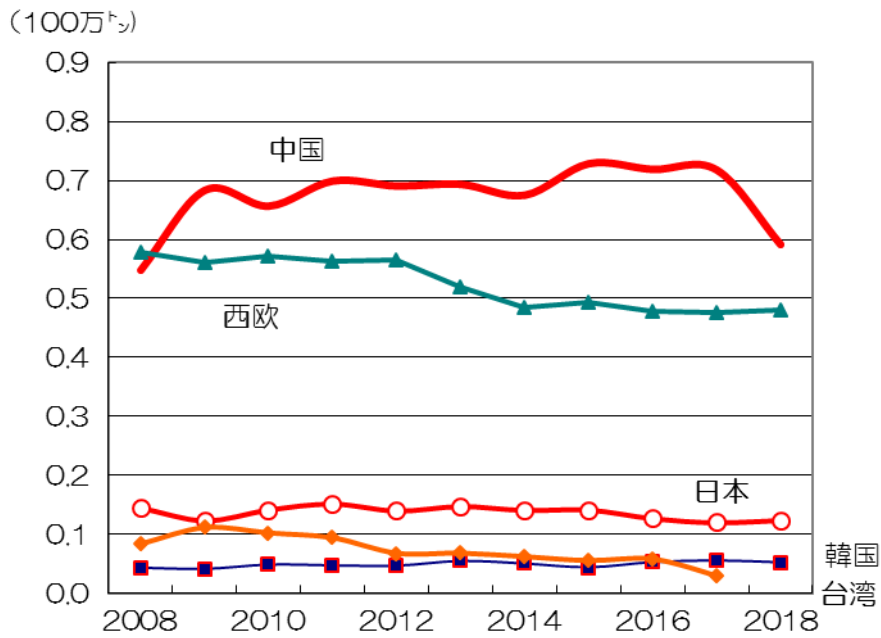
図表5 世界の主要国・地域別ポリエステルS生産



図表 6 世界の主要国・地域別ナイロン生産



図表 7 世界の主要国・地域別アクリル S 生産



(注) 台湾は 2018 年より未詳。